

基議厚産第125号
令和4年9月1日

基山町議会
議長 重松 一徳 様

厚生産業常任委員会
委員長 松石 健児

所管事務調査報告書

本委員会は、所管事務の調査を終了したので、その結果を報告します。

記

1 調査事項並びに調査期日

- (1) 交通安全・防犯対策について 令和4年8月1日
(概要説明及び現地視察)

2 調査結果

令和3年中の基山町内における交通事故と犯罪の発生状況について質したところ、交通事故については人身事故が21件発生しているが、居住地別の発生件数の人口比率では県内で最も低い自治体になっている。しかし、令和3年12月14日のけやき台と、令和4年1月6日に国道3号線で死亡事故が相次いだため、改めて交通安全施設の整備及び啓発活動等、関係団体と連携を図り、安全対策強化に努めていくとのことであった。また、犯罪の発生状況については、鳥栖警察署管内の刑法犯認知件数は前年から84件減少し449件となっており、犯罪種別は窃盗犯が307件と全体総件数の6割以上を占めている。主な手口としては、車上狙い、万引き等が最も多く、次に自転車窃盗、空き巣となっている。基山町内の犯罪件数は、令和元年が72件、令和2年が47件、令和3年が25件と年々減少しているとのことであった。その他、運転免許証自主返納や、交通安全施設の整備、ニセ電話詐欺被害、防犯灯の設置、ながらパトロールの登録などの状況についても説明を受けた。

当委員会としては、信号機の設置要望が提出されている箇所については、速やかに検討を進めること。交差点や信号機、道路標識の視認性の妨げとなる街路樹については適宜伐採を行い、安全確保に努めること。特に県道の対

応に遅れがみられるので、今後は佐賀県東部土木事務所と十分に協議を行うこと。また、運転経歴証明書の申請の際は、取得後のサービス内容の説明を十分行い、運転免許証返納者の申請判断の是非に支障を来さないようにすること。タクシーの割引チケットやコミュニティバスの無期限無料乗車の利用期限を設けるかどうかと、運転免許証を持たない配偶者との公平性について定住促進課と十分協議するよう提案した。

次に、近年交通量が増加し、道路の振動や騒音被害が発生していた町道桜町・伊勢山線の安全対策は、一部舗装工事が完了しラバーポールも8か所増設したとの説明を受けた。今後の計画について質したところ、舗装工事については、令和3年度は振動が発生していたと思われる住宅側の道路を優先的に舗装した。令和4年度も予算計上しており、住宅側の完了地点から城の上1号線と交差する付近まで行う予定であるとの説明を受けた。

当委員会としては、今後は地域住民に随時工事の優先順位の説明を行い、全体計画の早期完了を目指すよう提案した。

次に、町道宿1号線（明光寺西側）の水路への転落防止等の安全対策について質したところ、大雨の際水位が増し、道路との境界が分かりづらくなっている。近年宅地開発が進み、交通量の増加や児童の通行も増えてきている。安全対策として、地域住民から側溝蓋がけ等の要望も挙がっているとの説明を受けた。

当委員会としては、水路の状況から敷地に余裕がないこともあり、当地域全ての側溝に蓋掛けをして車道とするには予算上や工法上からも困難であると思われるが、交通安全面だけでなく、防災の観点からも対策を講じることが非常に大切であると考え、地域住民と十分協議を行い、対策を講じるよう提案した。

次に、防犯カメラの設置及び活用状況について質したところ、平成28年度以降、各地域の要望等も踏まえ随時設置を進め、現在、町内全体で60か所122台を設置している。鳥栖警察署より令和2年度に13件、令和3年度に12件の画像提供依頼があり、犯人検挙に協力している。設置については、今後も必要な箇所が生じれば検討をするが、これまで各行政区等と調整を図り設置したため、おおむね網羅できているとの説明を受けた。

当委員会としては、犯罪者の逃走経路などが防犯カメラで確認できるような場所を調査し、町道三国・丸林線に新設される駐輪場も含め、必要に応じて台数を増設するよう提案した。